

# 土地改良区だより

発行	平成20年7月18日 第1号
	和田土地改良区
	Tel 025-524-5537・Fax 025-524-5536 上越有放 66-7151



理事長挨拶

理事長 鈴木 孝

日頃より土地改良区の運営並びに土地改良事業の施行にあたり、ご協力をたまわり厚くお礼申し上げます。当土地改良区は、土地改良法により総代制になっており、そのため組合員の皆様と直接話し合う場が少ないことなどにより、今回「土地改良区だより」を発行することになりました。

“土地改良区の使命”は、農業生産の基盤である農地・水を守りつつ、環境に配慮しながら各種事業を総合的に推進し、豊かで美しい農村を次世代へと引き継いでいくことにあります。

土地改良区における今年度からの課題といたしまして、

- ①「ほ場整備事業の早期完成」を目指します。面工事の進捗率は、51%に向け進行中であり、尚、水路の一部ではありますが、和田小学校やわらぎ広場南側で環境に配慮した川づくりを創設中です。
- ②「農地・水・環境保全向上対策」について、上越市側では小学校区単位で、妙高市側では町内単位のみとまりで取組中です。しっかりと支援をしていきますので、この制度をうまく活用していただきたい。
- ③「農業用水水源地域保全対策事業」の普及推進活動を今年度から4年計画で取り組みます。
- ④「和田土地改良区維持管理計画書」の見直し、検討を始めます。

農業を取り巻く状況は依然厳しい中、経費の節減を図り、組合員の負担軽減につながるよう、役職員一同心を引き締めて皆様方の期待に添えるよう一段と努力していく所存でありますので、皆様のご協力をお願い申し上げます、一言ご挨拶といたします。

## みどり 土地改良区の愛称が「水土里ネット」に決定!!



第25回全国土地改良大会に於いて土地改良区の愛称が決定致しました。

現在、当改良区では、電話対応時に「はい、水土里ネット和田です。」と愛称を使用し、他にあらゆる機会を通じて愛称の浸透及び定着の推進を図っています。

土地改良区は、全国40万kmに及ぶ水路のネットワークによって、農村の健全な水環境を形成し農地を潤すことにより、安全で安心な「食」と「農」の基盤づくりを担っています。

この役割を地域の方々並びに国民の皆様にご認識していただき、人、物、情報のつながりにより、農家だけでなく、地域住民や、都市住民と連携(ネットワーク)して「水」、「土」、「里」を創造し、農村整備や施設の管理に加えて、自然環境との調和、農村文化や学習、都市と農村の対流に及ぶ様々な活動を進めています。

### 水土里について

「水」は農業用水、地域用水などを、「土」は土地、農地、土壌などを、「里」は農村空間や、農家・非農家の生活空間などを意味します。

また、「水土里」(みどり=緑、グリーン)には、“自然”や“環境への影響を少なくする”意味があることから、豊かな自然環境や美しい自然景観を意味しおいしい水、きれいな空気など清廉なイメージを表現しています。



## 第119回 通常総代会開催

去る3月31日、午後1時30分より、和田土地改良区二階会議室において総代41名(定数45名・現在員数44名)の出席を得て開催されました。議長には第5分区の栢澤 久氏が選出され議事に入り、承認案件(平成19年度補正関係)5件、平成20年度予算案件31件、計36件の提案議題について、慎重審議がなされ、すべて原案の通り承認、可決されました。(平成20年度予算内容は下記のとおり)

### 一般会計 予算概要 (68,388千円)

単位:千円

収 入	予 算 額	支 出	予 算 額
1. 経常賦課金	21,662	1. 会議費	874
2. 特別賦課金	2,693	2. 事務費	28,925
3. 繰入金	14,915	3. 諸費	12
4. 補助金及交付金	3,738	4. 維持管理費	15,510
5. 財産収入	1,174	5. 償還金	1,280
6. 雑収入	678	6. 繰出金	1,600
7. 繰越金	23,528	7. 予備費	20,187
計	68,388	計	68,388

20年度の賦課金は、平成20年4月1日現在の土地原簿に基づき計算されます。

土地改良区の経常賦課金は、土地改良区の運営費や管内土地改良施設の維持管理費に充てられ、また、特別賦課金は、土地改良事業の借入金の返済に充てられます。

第1期賦課金 納入期限 平成20年7月31日

第2期賦課金 納入期限 平成20年10月31日(特別賦課金も含む)

### ほ場整備事業実施地区の田植え

土地の総合的基盤整備(標準区画125m×80m=1ha)、及び農地の集団化等、地域農業の発展を目的に平成17年度より進められています。今年度においても、引き続き工事が施行され、新しい営農形態が確立されることが期待されます。



事故防止に  
御協力下さい

を大まを  
ろ人す設  
しのが置  
く皆、す  
お様子  
願から  
い申見  
し守水  
上げつ  
げ事  
また故  
すだ起  
。だき  
きない  
すまい  
すよめ  
ようお  
うにり

